

新基地建設反対名護共同センターニュース

♪いかなる弾圧が度重なるとも 友情は変わらない♪



3月5日のゲート前は冷たい雨でした。それでも県民は、各地島ぐるみのバスで80人ほどが結集。「違法工事を中止せよ!」「ジユゴンやサンゴを殺すな!」と抗議のシュプレヒコール上げました。うるま市島ぐるみの宮城英和さん(写真左下)が持ち前の美声で、♪いかなる弾圧が度重なるとも われらの友情は 永遠に変わらず♪(心さわぐ青春の歌の替え歌)などたたかいたいの歌をリードし、多くの声を基地内に響かせました。

「雨にも負けず、機動隊にも負けず、コロナにも負けず」うちなーんちゅのたたかいは続いています。現場にかけつけたある本土の男性は「この不屈性はどこから来るのか、いつも感動し、県民のアイデンティティーに頭が下がります」と話していました。一方、TEIKO Iの警備員(写真右下)はこの日も誰一人マスクをしておらず、県民から非難の声が上がっていました。

雨にも負けず、機動隊にも、コロナにも負けず、県民のたたかいは続く

安和港で運搬船が107デシベルの大音響で「警告」へり基地反対協 “音の暴力は許せない!”

安和琉球セメント棧橋付近の海上でカヌーチームが3月4日、抗議活動を行っていた際、辺野古への土砂運搬船からカヌーのメンバーに向けて「その場を離れるように!」と大音響で再三警告を発しました。その音量はなんと107.8デシベルもありました。電車が通るときのガード下以上の音量です。



琉球セメント棧橋付近で抗議中のカヌーチームに浴びせる“音の暴力”

「琉球セメントの悪徳商法と音の暴力に抗議する」へり基地反対協の仲本興真事務局長は「わざわざスピーカーの位置を抗議参加者にむけ、大音響を浴びせることは音の暴力だ。この影響で数人のメンバーが頭痛と難聴を引き起こす事態となっている。琉球セメントは二束三文の土砂を高額で売りつける悪徳商法を行っているうえ、県民の非暴力の活動に対する暴力的対応は大問題だ。厳重に抗議する」と話しています。



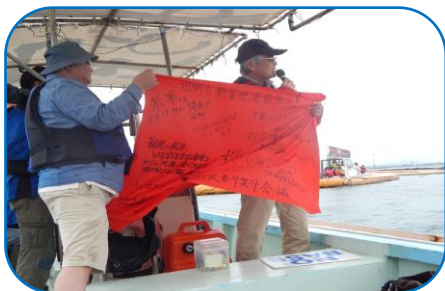
工事変更案を学習 北上田さん講師でへり基地反対協

へり基地反対協は5日、防衛省による「辺野古」埋め立て工事の計画変更案について、北上田毅氏を講師に名護市内で学習会を30人の参加で行いました。

北上田氏は、軟弱地盤などで国側が予算や工期を大幅に拡大せざるをえなくなった工事変更案の矛盾や問題点を解明しました。その上で、沖縄県が辺野古の工事を中止させるために、サンゴの移植や土砂の採取・運搬などで行政権限を毅然と駆使すること、県民がデニー県政を支えていくことが重要だと強調しました。その後、参加者は海上でもゲート前でも抗議活動をいっそう粘り強く展開することの重要性を確認しました。



「辺野古の海は県民のものだ。県民に返せ!」 抗議船から三多摩労連副議長が訴え



東京平和委員会の有志5人が7日、辺野古漁港から平和丸に乗船しました。K8護岸付近で台船からトラックで赤土を埋め立てるため搬送中の現場を視察。

菅原一茂・三多摩労連副議長(写真右)がマイクで「辺野古の海は県民のものであり、国民のもんです。美ら海を県民に返してください!」と訴えました。

共同センターの募金の訴えに反響
 当ニュース276号で、名護共同センターの財政事情が厳しく募金の訴えをさせていたいただきました。直後から県内外から募金とメッセージが寄せられています。紹介します。

● なかなか現地に行けないので募金いたします。いつも赤旗折り込みニュースがありありがとうございます!読みながら、皆さんと同じ雰囲気を感じ、怒ったり、喜んだりしています。来ないとうして、たか心配になります。お互い頑張りましょう。(那覇市・女性)

● いつも最新の情報ありがとうございます。カンパします。(大阪・女性)